

3・2・8号線の計画交通量 32,800台/日の根拠は？

これまで見てきたように、現実の交通量はすでに減少傾向にあるのに、環境や地域住民に大きな犠牲を強いてまで、新しく36mもの幅の道路をつくる必要があるのでしょうか。

前ページの図表5は、東京都が建設しようとしている「3・2・8号府中所沢線」の位置と、東京都が示す平成42年の各道路の「計画交通量（24時間）」を私たちがまとめた地図です。

それによると、五日市街道～鷹の街道間の府中街道の交通量は、現在の16,841台（24時間）から、平成42年には8,400台へと、約半分に減少する一方、そのすぐ西に新しく造られる「3・2・8号府中所沢線」の交通量は、32,800台とされています。

この32,800台の根拠は何でしょう？ 現在の府中街道の交通量の約半分の8,400台が「3・2・8号府中所沢線」に移るとしても、残り約24,400台は、どこから来るのでしょうか？

24,400台は、新しい道路が新しく作り出す交通量でしょうか？ 必要だからでなく、車を増やすために道路をつくるのでしょうか？ 大いに疑問です。

市内にこんなにある都市計画道路

図表6は、小平市内にある都市計画道路を示したものです。全部で24本のうち完成しているのは7本で、小平市は、整備率がまだ38.1%（H.25.3.31現在）なので、早く整備しなくては、と主張します。しかし、これらの都市計画道路をすべて計画通りにつくったら、市内は道路だらけになってしまいます。それは市民が望んでいることなのでしょうか？

コンクリートから人へ、産業重視から生活重視へ、効率よりも心の豊かさを求める方向へと、人々の価値観も変わりつつあります。やみくもに道路をつくるのが、公共の利益とは言えなくなっています。

本当に必要な道路なのか、緑を減らして220戸余りを立ち退かせてもつくるべきなのか、立ち止まって考えてみませんか。

3・2・8号線計画を検証する No.1

2013年9月20日発行

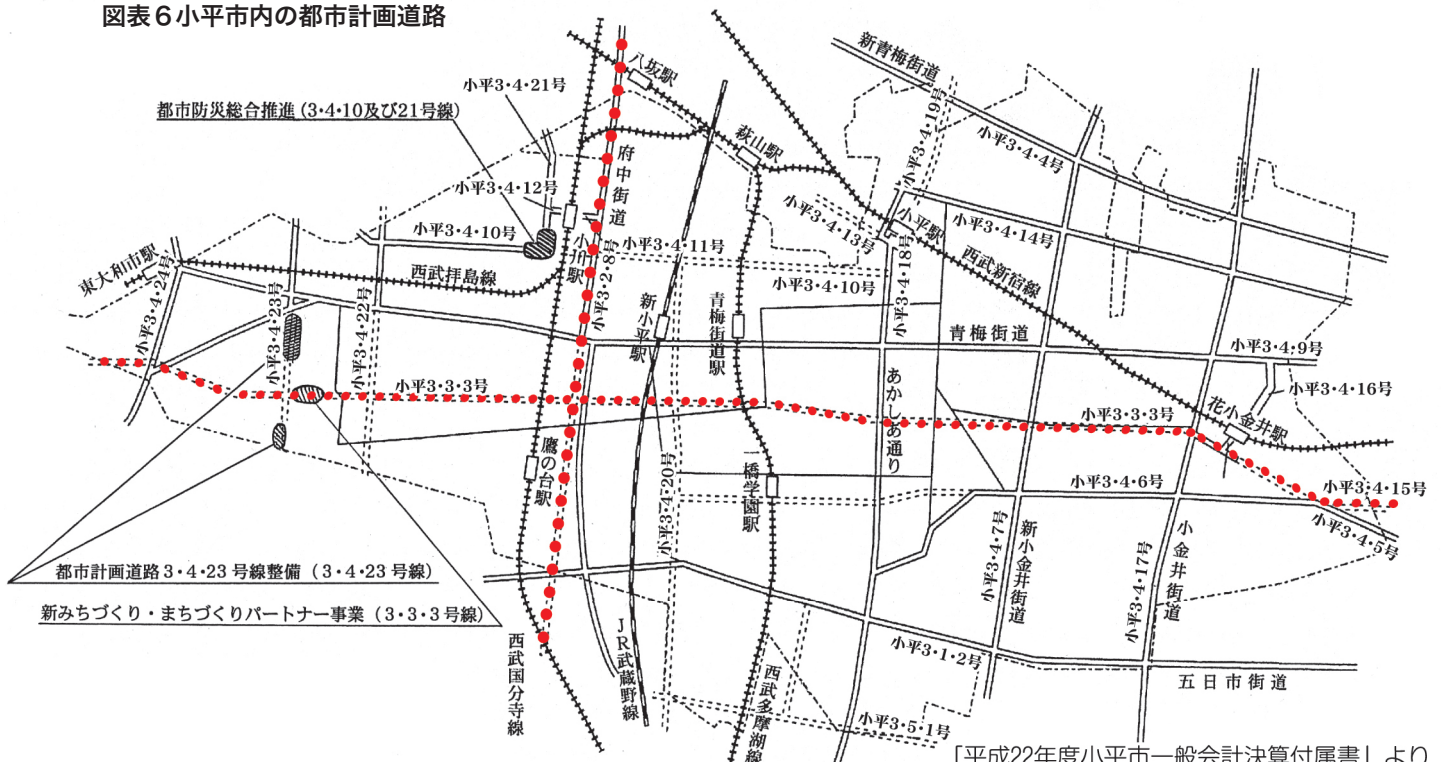
発行：都道小平3・3・8号線計画を考える会

電話：090-8341-9170

e-mail：VZB17246@nifty.ne.jp

ブログ：<http://338kangaerukai.seesaa.net/>

図表6 小平市内の都市計画道路



〔平成22年度小平市一般会計決算付属書〕より